

北海道の印刷

10

第833号

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

2025年10月10日発行

北海道の難読地名

二風谷

難読レベル

★★★★☆



紅葉に染まる二風谷ダム（沙流郡平取町二風谷）

CONTENTS

3~5 HOPE2025盛況に開催される

6・7 HOPE2025セミナー8セッション開催される

8・9 全印工連ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud Edition4」のご案内

10 令和7年度DTP技能検定受験のご案内

10 北海道最低賃金改定のご案内

10 業界のうごき



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

HOPE2025が盛況に開催

DXで印刷価値創出～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2025が、「DXで印刷価値創出～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～」をテーマに、9月3日・4日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催され、会期中、展示会に2,937人、セミナーに227人、合計3,164人の来場者で賑わい、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、情報交流と学びの場として盛況に開催された。

HOPE2025は、情報発信の場としての展示会と学びの場としてのセミナーの2本立てで構成され、展示会は46社72小間、セミナーは実行委員会主催のパネルディスカッション、テクニカルセミナーの2セッション、出展6社主催の出展社企画セミナー6セッションの合計8セッションが行われた。

会期初日の9月3日午前9時30分から、来賓、出展者、実行委員会委員、関係者約300人が出席して開会式が開催された。



岸 昌洋氏

最初に、主催HOPE実行委員会役員の紹介が行われ、主催者を代表して岸昌洋HOPE実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、「本日は来賓として多くの皆様に臨席を賜った。お忙しいなか、ありがとうございます。今年もHOPEを開催できたのは、偏に出展・出講

いただいたメーカー・ベンダー、そして搬入・搬出、各種施工等工事に携わっていただいた関係者の皆さんの尽力と感謝申し上げ、実行委員会を代表して厚くお礼申し上げます。我々印刷産業の現状は、マーケットの縮小、諸資材の高騰、人手不足など、あげればキリがないほど厳しい状況下にある。加えて価格転嫁対策、脱炭素への取り組み、DXや働き方改革の推進などの課題も山積している。このような未曾有の転換期の渦中にあり、我々産業が持続的な発展を遂げるためには、過去の延長線から脱却するための変革が求められている。そのためには、ハードとソフトの両方に着目をして、新しい目線で全体を捉え、発展を遂げられるようにしていかなければならない。さらに、デジタル・AI技術等の急速な進展により、社会における情報の多様化が加速し、文化と情報コミュニケーションの担い手である我々の産業が果たす役割と責任は一層重要になり、社会や人々から求められる期待も日増しに大きくなっている。今年のHOPE2025は、『DXで印刷価値創出～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～』をテーマに開催する。出展・出講いただき皆さんをはじめ、印刷ユーザーの皆さんが、日々、革新する印刷産業の現状を共有いただき、互いに課題解決の突破口を見出すチャンスとなることを願う。このHOPEは、北海道のこの地で、昨今の印

刷産業の置かれている現状と、未来に向けた情報を共有する場として、自社を変革し、お客様を、そして世の中が便利になる業態として位置づけられ、そのヒントが詰まっている。1993年からの歴史をつむぎ、今年で32年目となる、今の時世にマッチしたイベントである。新しいかたちの産業として、発展を続ける印刷産業を、来場いただいた方々自身の目で、確認いただけることを切に願い開会のあいさつとする。本日から2日間、どうぞよろしくお願いいたします」と開会のあいさつを述べた。

つづいて、臨席いただいた来賓7人の紹介が行われ、代表して5人から祝辞が述べられた。



酒井哲也氏

酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「今年のHOPEは『DXで印刷価値創出～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～』をテーマとして、印刷産業の価値向上につながる最新の機器やサービスを一堂に展示するとともに、経営

や技術に関するセミナーが多数開催されるなど、この場から未来に向けた多くの情報が発信・共有されると伺っている。現在はさまざまなメディアから誰でも簡単に情報を入手できる時代になったが、やはりこうしたリアルな場であるからこそ得られる出会いや対話、そしてそこから生まれる気づきや知恵は貴重なビジネス機会になる。本イベントの開催を通じ、皆さんの事業の成長発展、また業界における連携協業、さらにはイノベーションの醸成に繋がることを心から期待している。北海道経済産業局としても、皆さんが取り組まれるデジタル技術の導入による生産性の向上や事業の付加価値のための設備投資など未来に向けた前向きな取り組みを応援していく。皆さんには当局の施策を積極的に活用いただくことで、経営課題の解決、事業領域の拡大などにつなげていただければ幸いである。HOPE2025の盛会と実行委員会各団体の今後ますますの発展を祈念する」と述べた。

茶谷智子北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本日は、参集の皆さんには日頃から本道経済の活性化に力添えいただき、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。本道ではGXやAI、DX分野における産業集積



茶谷智子 氏

が見られるなど、良い兆しもあるが、一方で長引く物価高や担い手不足、不安定な国際情勢など企業を取り巻く環境が大きく変化しており、印刷業界の皆さんにおかれても、このような変化に対応しつつ、これまでのノウハウを活かしながら新しい価値を創造していく、そう

いったアプローチをされているところではないかと思う。今回のHOPE2025は、『DXで印刷価値創出～高付加価値コミュニケーションサービス産業へ～』というテーマで開催されると聞いている。最新の機器・技術・サービスが一堂に集まり、AI・DXを活用した経営改革などの情報発信、また付加価値や生産性向上につながるビジネスの交流が行われることで、本道印刷産業のさらなる発展につながるものと期待をしている。道としても、企業の皆さんの生産性や技術力の向上、人材の確保・育成に向けた取り組みなど支援をしていきたいので、引き続き理解、協力をお願いしたい。HOPE2025が新たな価値の創出につながる実り多い機会となり、来場の皆さんの健勝・繁栄を心から祈念する」と述べた。



田中清敬 氏

田中清敬札幌市経済観光局産業振興部産業振興課長は、「印刷業を取り巻く経済環境は、人手不足あるいはデジタル化のなかでの物理的な紙需要の減少ということで、厳しい環境下に置かれているものと承知している。一方で、印刷業の皆さんがこれまで蓄積してこられた、

人と人との情報共有の手段としての大事な役割は、これまでも、そしてこれからも変わらず生き続けることは間違いなく、皆さんの知見、ノウハウ、技術、そしてネットワーク、こういったものは一層社会に求められていくものではないかと考えている。そういう意味で、本日のサブタイトルである高付加価値コミュニケーションサービス産業へは非常に共感する。本日の展示会が一つの転機になるのではないかと大いに期待する。札幌市の現状について、少しでも触れさせていただくと、本日のテーマでもあるAI、DXに積極的に取り組んでいくのはもちろんであるが、クリエイティブ産業の振興にも力を入れている。こちらは都市型産業構造のなかで、映像を始めとするコンテンツ産業、デザイナー、クリエイターの育成に力を入れている。まさにデザイン、印刷という親和性の高い産業を活性化させることで、企業の皆さんの経営課題に役に立ち、また市民の皆さんの社会課題にも役に立つ相乗効果を発揮するのではないかと考えている。その意味でも印刷産業の皆さん、関連する企業の皆さんにおかれては、今後とも札幌市の産業をリードしていただきたい。本日、明日のイベントの成功と本日集まりの皆さんの健勝・多幸を心より祈念申し上げます」と述べた。



瀬田章弘 氏

瀬田章弘全日本印刷工業組合連合会会長は、「私は会長職を拝命して、JAGRAの岡本会長と常々話しをするのは、働いている人たちが幸せになること、そしてメーカー・ベンダーの皆さんとともに発展できる業界を創っていこうということである。しかしながら、世の中、デフレ

からインフレになったが、我々は、まだまだ日々、価格競争をしてしまっている。こういうこと止めて、高くても喜んで買っていただける製品サービスづくりをしっかり実施していく。それにはメーカー、ベンダーの皆さんと一緒に価値創りをともにしていかなければならない。そうは言っても、会長なかなかそういう原資はないという声も多い。全印工連としては、まずはしっかりとこの価格転嫁を進める。材料資材が上がっている。エネルギーも上がっている。そして人件費もどんどん上げなくてはならない。働いている皆さんのための賃上げをしなくてはならない。だからしっかりと価格転嫁をしていこう。私が会長職を拝命した際に、この価格転嫁ができない3つの業界があり、1つは同業である。そして官公需、それと出版業、この3つがあった。同業は日印産連も含めて自主行動計画を策定して、パートナー構築宣言を各社宣言していたでいて、大分価格の上昇が浸透してきつつある。そして出版業もなかなか大変である。ただの値上げではなく、ともに書店・出版を盛り上げていこうというような活動も今進めている。そして官公需、こちらは日本の財政も苦しい。そういうなかでインフレの世の中になっても、まだまだ官公需の値段が下がっている悲痛な声が私のところに、地方に行けば行くほど耳に入ってくる。そういったことで、私も新しい資本主義実現本部の実行本部の方に入り、中小規模印刷業の実情を話して、これが新資本主義のグランドデザイン、基本計画にこのたび入り、来年度の骨太の計画に入っている。徐々に官公需も適正值段になるだろう。それ

を推進していこうと考えている。そして最終的には価値協創、価値創りである。これは異業種の皆さん、そして地域の皆さん、メーカーの皆さんと新しい価値を創っていかねばならない。それには設備投資、そして人づくりが必要である。我々は積極的に設備投資、そして人づくりを応援して参りたい。これからも皆さんに協力をいただき、積極的にこの業界が価値創りをできるように協力を賜ればとお願い申し上げる。本日参加いただいた皆さんの発展、健勝を祈念する」と述べた。



岡本 泰 氏

岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長、「高付加価値コミュニケーションサービス産業ということで、今も全印工連瀬田会長からの話がいったように、価格競争を止めようということを昨年から印刷産業全体で提唱している。印刷会社が、仕事を取り

りに行く時に自社の何が競争力になるのかをしっかりと考えずに仕事を取りに行く。当然マーケットが縮小しているから、価格競争がやりやすいからすぐ行ってしまう。価格競争をやるから安く作らないとならない。メーカー、ベンダーに対して、通し単価がどうかメンテナンスがどうか、いろいろ言いながら価格を下げることの要求ばかりである。メーカー、ベンダーはそういったことばかり言う客が来るので、ノイローゼになってどんどんやめて行ってしまう。だんだんメーカーが開発、特に開発のところは人件費というのか、開発人員を削減せざるを得ない。JAGRA会長という立場上、全国の支部を回って皆さんと話をしているが、東名阪以外の各地方のメーカー、ベンダーの営業支援体制・サービス体制はどんどん細っている。全

国の印刷会社の皆さん、経営者の皆さんはそういったところを目の当たりにして大変不安を感じている。今回、出展者の立場でもあるが、JAGRAブース、印刷革新会ブースの出展をさせていただいている。皆さんには印刷革新会が何をやっているのかを見てもらって、これからの展示会のあり方は、やはりワークフロー展示であり、メーカー・ベンダーが単体で展示する今までの何の変わり映えもしない展示会よりはワークフロー展示で、複数のメーカーがこうやってワークフローを作っていく。この展示を見ていただきたいと思う。このHOPEから来年pageがあって、JP展もある。そのなかで印刷革新会ではワークフロー展示に徹して行く。複数のメーカーのこういった機械を組み合わせる、ソフトウェア、ハードを組み合わせると、こういう生産体制になる。それが創注につながって価格競争ではない印刷会社のビジネスモデルということになると思う。それをやっていければ、メーカー、ベンダーにもっと価格競争ではなく、機能の話ができるのかなと思う。それをこのHOPE2025をきっかけにさせていただいて、メーカー、ベンダーにもしっかり儲けていただいて、印刷産業をしっかり支えていただけるように転換できる年にできれば大変ありがたいと思っている。出展者の立場でもあるが2日間盛大に開催されることを祈念する」と述べた。

つづいて、酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長、茶谷智子北海道経済部産業振興局産業振興課長、田中清敬札幌市経済観光局産業振興部産業振興課長、瀬田章弘全日本印刷工業組合連合会会長、岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長、松浦豊北海道中小企業団体中央会専務理事、岸昌洋HOPE実行委員会会長によりテープカットが行われ、HOPE2025が開幕した。



左から松浦氏・岡本氏・岸氏・酒井氏・茶谷氏・田中氏・瀬田氏

HOPE2025セミナー開催される

HOPE2025セミナーが、9月3日、4日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで実行委員会主催の
パネルディスカッションとテクニカルセミナーの2セッションと、出展6社主催の6セッションの出展社企画
セミナーの合計8セッションが開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

9月3日水

パネルディスカッション

《提供》HOPE実行委員会

テーマ 印刷革新会がひらく未来への扉～DXの道はひとつづくりに続く～

パネリスト

株式会社クイックス

代表取締役社長 岡 本 泰 氏

佐川印刷株式会社

代表取締役社長 佐 川 正 純 氏

株式会社JSPIRITS

代表取締役 地代所伸治 氏

ホリゾン・ジャパン株式会社

代表取締役社長 宮 崎 進 氏

リコージャパン株式会社

PP事業部ソリューション技術営業室 室長 佐 藤 幸 一 氏

ファシリテーター

ニュープリンティング株式会社

専務取締役 菅 野 孝 市 氏



セミナー①

《提供》キャノンマーケティングジャパン株式会社

テーマ もう他人事ではない、印刷業にも迫りくるサイバー攻撃～サイバー攻撃の現状と求められる対策とは～

講 師

キャノンマーケティングジャパン株式会社

ソリューション事業本部

主席 村佐忠則 氏



セミナー②

《提供》リコージャパン株式会社

テーマ 『リスク認識』から始まる『セキュリティ対策評価制度（格付）』への備え

講 師

リコージャパン株式会社

人事・コーポレート本部

人財開発センター能力開発企画室

情報セキュリティコンサルティング

グループリーダー 芦田隆太郎 氏



9月3日水

セミナー③

《提供》株式会社 J SPIRITS

テーマ データ活用でDXの具現化 MISが実現するDXの最前線

講師

株式会社 J SPIRITS
営業部取締役
営業本部長 竹井聖浩 氏



9月4日木

テクニカルセミナー

《提供》HOPE実行委員会

テーマ クリエイティブ業務を加速！ 生成AIの“現在地”

講師

スタジオねこやなぎ
代表 大須賀 淳 氏



セミナー④

《提供》プリントネット株式会社

テーマ ファブレス時代の印刷戦略：ネット印刷の最新活用事例

講師

プリントネット株式会社
代表取締役会長兼社長
小田原洋一 氏



セミナー⑤

《提供》ハイデル・フォーラム21北海道地区会

テーマ マーケットが求めるフェアトレード～印刷会社に求められる準備～

講師

ハイデルベルグ・ジャパン株式会社
エクイップメントソリューション本部
シニアマネージャー 曾條靖之 氏



セミナー⑥

《提供》ホリゾン・ジャパン株式会社

テーマ 『人が足りない』をチャンスに変える！～多能工育成と自動化導入の取り組み事例～

講師

ホリゾン・ジャパン株式会社
マーケティング部セールスサポート課
セクションリーダー 松本俊介 氏



令和7年度DTP技能検定のご案内

厚 生労働省の令和7年度技能検定プリプレス職種「DTP作業」が実施される。DTP作業従事者の皆さんへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。

令和7年度後期に実施されるプリプレス職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり

受検申請受付 令和7年10月2日（木）～同15日（水）

実技試験日程 令和8年1月中旬～同2月上旬

実技試験会場 北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目）
北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目） ※受検者数によって1会場になる場合がある。

学科試験日程 令和8年2月8日（日）

学科試験会場 札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場

実技試験内容 DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。

受 検 区 分 1級および2級

受 検 手 数 料 実技18,200円／学科3,100円

受 検 申 請 先 北海道職業能力開発協会

問 い 合 せ 先 北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

北海道最低賃金のご案内

令和7年10月4日改定

北海道内で事業を営む全産業の使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改定された。

最低賃金額

時間額 **1,075円**（令和7年10月4日改定）

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。

○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。

業 界 の う ご き

▶ 共同印刷機材(株)社長に小林繁樹氏

共同印刷機材株式会社（札幌市中央区北1条西18丁目1番地）は、このたび、上野裕之社長が取締役相談役に就任し、新しく代表取締役社長に小林繁樹氏が就任した。



HOPE 2025

HOKKAIDO PRINT EXPO

写真グラフ



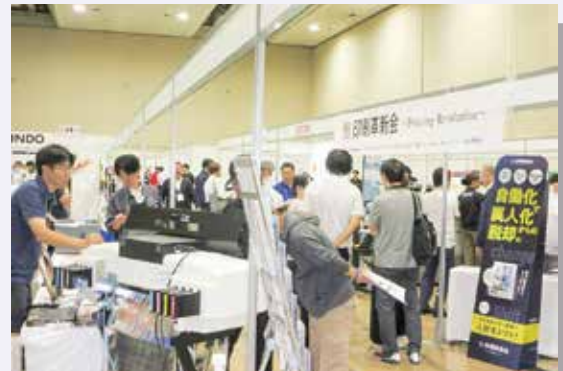
実行委員会メンバー



ご来賓の皆様



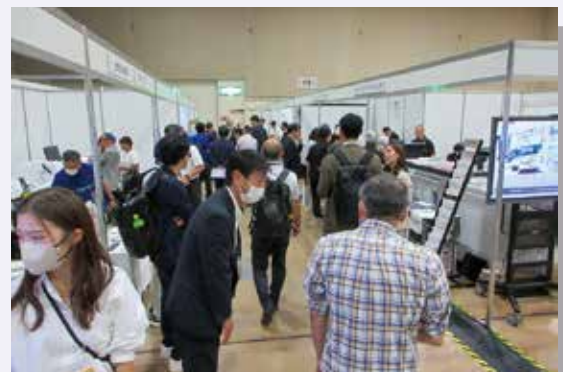
展示会全景



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会



盛況を博した展示会

北海道の難読地名

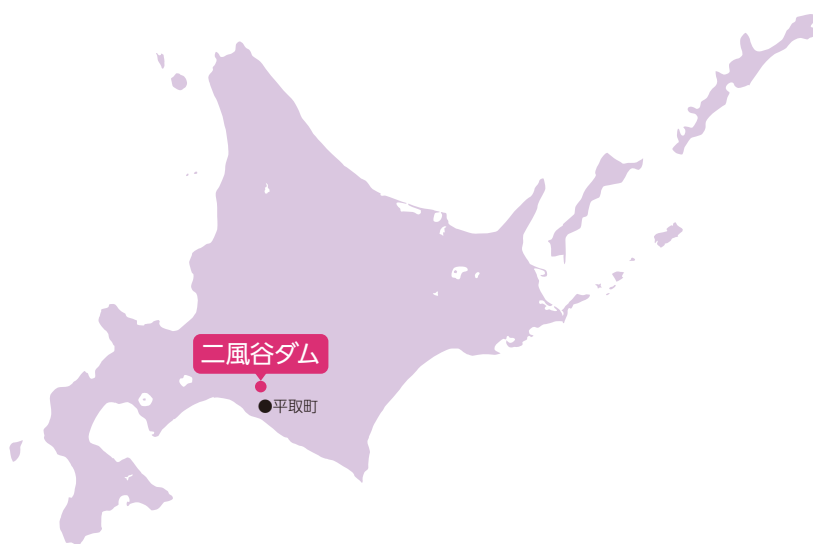
二風谷

難読レベル

★★★★☆☆



紅葉に染まる二風谷ダム（沙流郡平取町二風谷）



表紙の解説

二風谷（にぶたに）

アイヌ語のニナタイ「柄・を作った・ところ」の意。
昔、ここに細工の上手なアイヌがいて、木太刀を作って、その柄に金物を三ツ付けて奉ったという。

参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html

難読レベル

- ★★★★☆..... 道外の方でも読める
- ★★★★☆..... 道民のほとんどが読める
- ★★★★☆..... 道民の半分くらいが読める
- ★★★★☆..... 道民でもほとんど読めない
- ★★★★☆..... 地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。